

合格体験記 1

京都大学医学部人間健康科学科理学療法学専攻

他の主な合格校：立命館大学薬学部生命科学科、明治大学理工学部農学科、
近畿大学理工学部農学科、慶應大学薬学部(補欠)

1 志望校決定について

私は小4の時に理学療法士を目指し始め、ムサキタに合格したその日に理学療法士になれる大学を探したところ、一番レベルの高い大学が京都大学だということを知りました。「どこの大学でも高一から目指していればいけるだろ」、「どうせ目指すなら一番」という安直な思いから京都大学を目指し始めました。

2 1、2年次の学習について

予備校に行っていなかったため自主学習の時間が取れたので、1年次は平日20:00-23:00、休日5時間と時間を決めて数学と英語をしていました。2年次は主に数2B、数3の予習とvintageと英単語を暇な時間にしました。

3 受験に向けて

どんな受験生でも最も大事なことは「自己分析をすること」と「目標を持つこと」だと思います。自己分析をして自分に何が足りないのか、何の科目をどのように伸ばすべきなのか、合格するために必要な学力とのギャップを埋める最短距離を進むにはどうすべきなのか、こういうことを考えられると自ずと合格に近づくとと思います。予備校に行く人も予備校に行くことに満足し、授業受ければ学力が伸びると思ってこういうところを疎かにするとうまく行かないと思います。また目標がなければ推進力は生まれません。

僕のおすすめは自分の志望校を周りに言うことです。周りに言っただけで志望校へ意識をせざるを得ない環境にしてそこに自分を置くことで気持ちを強く持てるし、自分に妥協を許さなくなります。

勉強は「受動的」と「能動的」な学習をバランスよくすることで最大の効果を発揮すると思います。僕の場合は授業で8割理解(受動的)予習と復習で2割理解(能動的)を意識していました。予備校に行かない人は能動的な学習の時間が確保できるところが強みだと思います。予習は教科書を読み「わからないところ」、「面白そうだなと思うところ」を見つけることを意識し、復習では授業でやった問題と類似問題を問題集で見つけてやると効果的です。

私は3年の4月くらいは合格のための計画を考えていました。私の受けた学部はセンター:二次が1:3だったので二次力が必要だと思い、どの時期に過去問をして、その過去問をする前にこの参考書をやり終わるといった大まかな学習計画を立てました。私の場合は夏休みから12月まで国数英の過去問と物理化学の授業理解に努め、12月からはセンター試験の勉強をしました。センター比率の高い都立大学や学芸大学の志望者はもっと早い段階でセンターの練習をするのをおすすめします。

第一志望に推薦入試がある人は、ぜひ受けてみてください。**推薦入試の大事なことは「熱意」と「ビジョン」**だと思います。僕は前述の通り小さい頃から理学療法士になりたいと思っていたので、多くの人より理学療法士について知っていたし、理学療法士になってやりたい明確なビジョンを持っていました。また高校入学前から京都大学を目指していたので、誰よりも京都大学に行きたいという気持ちは強かったと自負できます。面接などは熱意とビジョンを語るだけ、論文試験は自分の実力を出すだけとっていたので、僕の場合は一切推薦入試の練習はしていません。それでもなんとかなったので、勉強のモチベーション、良い刺激を得るために、そして合格への宝くじを買うつもりでダメ元でも受けてみて欲しいと思います。

是非、**勉強は高め合える仲間**としてください。僕は一年間、廊下で勉強して来ましたが、いつも難関大学を目指している子たちが隣にいました。その子たちは自分がわからない問題を聞くと答えてくれたし、自分では思いつかない解法を教えてくれたのでいつも助かっていました。またストレスが溜まった時に一緒に発散してくれたり、元気をくれたりしました。隣の子に負けないように勉強することで頑張れるのでムサキタ生の特権を活かしてください。

最後に**学力は現状維持するのが一番難しい**ことを覚えておいてください。数日英文を読まないだけで読解のスピードは落ちますし、古典の単語も数日で抜け落ちます。学力維持のコツは毎日少しずつすることです。学力維持を続けてちょっと伸びたらラッキーくらいの心持ちでマイペースにしてください。学力の伸びも個人差があるし、1日で急に伸びるわけでもありません。決して焦らず、弛まず、あきらめず、謙虚に努力を続けて欲しいと思います。

4 利用した参考書

英語:ターゲット、鉄壁、vintage、ポレポレ、長岡さんの英作文の赤いやつ(添削してもらいました)、過去問

数学:4STEP、一対一対応、過去問

化学:重要問題集、桂田先生のプリント、過去問

物理:教科書、重要問題集、過去問

国語:過去問(添削してもらいました)

自分に合った問題集を使うのが一番です！